

2023年度 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム事業 調査レポート

# インド産業構造入門

(2024年3月)

日本貿易振興機構(ジェトロ)  
チェンナイ事務所 および 海外展開支援部

## 報告書の利用についての注意・免責事項

JETRO

本報告書は、日本貿易振興機構（JETRO）チエンナイ事務所がGlobal Japan AAP Consulting Private Limitedに作成委託し、2024年3月に入手した情報に基づくものであり、その後の法律改正などによって変わる場合があります。掲載した情報・コメントは作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。また、本報告書はあくまでも参考情報の提供を目的としており、法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。本報告書にてご提供する情報に基づいて行為をされる場合には、必ず個別の事案に沿った具体的な法的助言を別途お求めください。

JETROおよびGlobal Japan AAP Consulting Private Limitedは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。これは、たとえJETROおよびGlobal Japan AAP Consulting Private Limitedが係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

本報告書に係る問い合わせ先：

JETRO・チエンナイ事務所

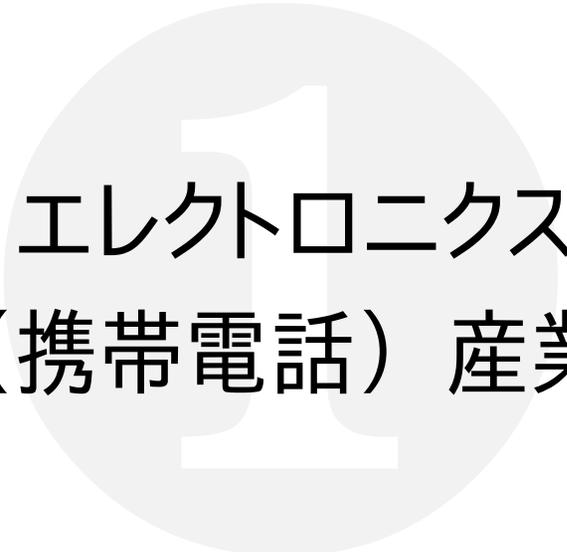
E-mail：INC@jetro.go.jp

日本貿易振興機構（JETRO）海外展開支援部 戦略企画課 個別支援班

E-mail：Platform-bda@jetro.go.jp

## 目次

1. エレクトロニクス（携帯電話）産業
2. 医療機器産業
3. 自動車産業
4. 特殊鋼産業
5. 白物家電産業
6. 繊維産業



エレクトロニクス  
(携帯電話) 産業

# インド・エレクトロニクス（携帯電話）産業～概況～

## 市場概況

- 中国に次ぎ、インドは世界第2位のスマートフォン市場である。
- インド国内の携帯電話ユーザーは13億人を超える。
- 電子機器製造サービス（EMS）市場は、2021～2026年の予測期間中に年平均成長率5.4%を記録し、2026年までに1145億ドルに達すると予測されている。

## 主要企業

- インド国内スマホメーカー：MicroMax, Lava, Intex, Karboon, Spice, Iball, Reliance など
- 海外スマホメーカー：Xiaomi, Samsung, Vivo, Oppo, Apple, Realme, OnePlus, Nokia など
- EMS企業：Dixon, Foxconn, Wistron, Pegatron, Bharat FIH など

## 輸出入

- スマートフォンはエレクトロニクス輸出品目の中でトップであり、2022-23年度には100億ドルを突破。
- 輸出量は急成長しており、過去3年間で139%以上の伸びを記録。
- スマートフォンの輸出量増加に伴い、電子部品の輸入が増加している。

## 投資環境

- エレクトロニクス製品の国内製造と輸出を促進することを目的としたPLIスキーム※1（製造連動インセンティブ）により、大規模電子機器製造セクターに約50億ドルの奨励金が割り当てられ、この分野への投資が急増した。SamsungやAppleなど世界的エレクトロニクス企業の製造施設設立が急速に進んでいる。
- ※1：国内製造製品の売上が基準年を上回った場合に、該当企業にインセンティブを支給する政策。

## スマホ産業～主な集積地域～

- デリー近郊（ノイダ、グルガオン）はメーカー本社に加えメーカー自社工場を構える企業が多い。
- 南部はタミルナドゥ州をはじめとして、各社製造工場や組立を請け負うEMS企業が目立つ。

### 1. ウットルプラデシュ州・ハリヤナ州

- ノイダ、グルガオン

### 2. タミルナドゥ州

- チェンナイ

### 3. アーンドラプラデシュ州

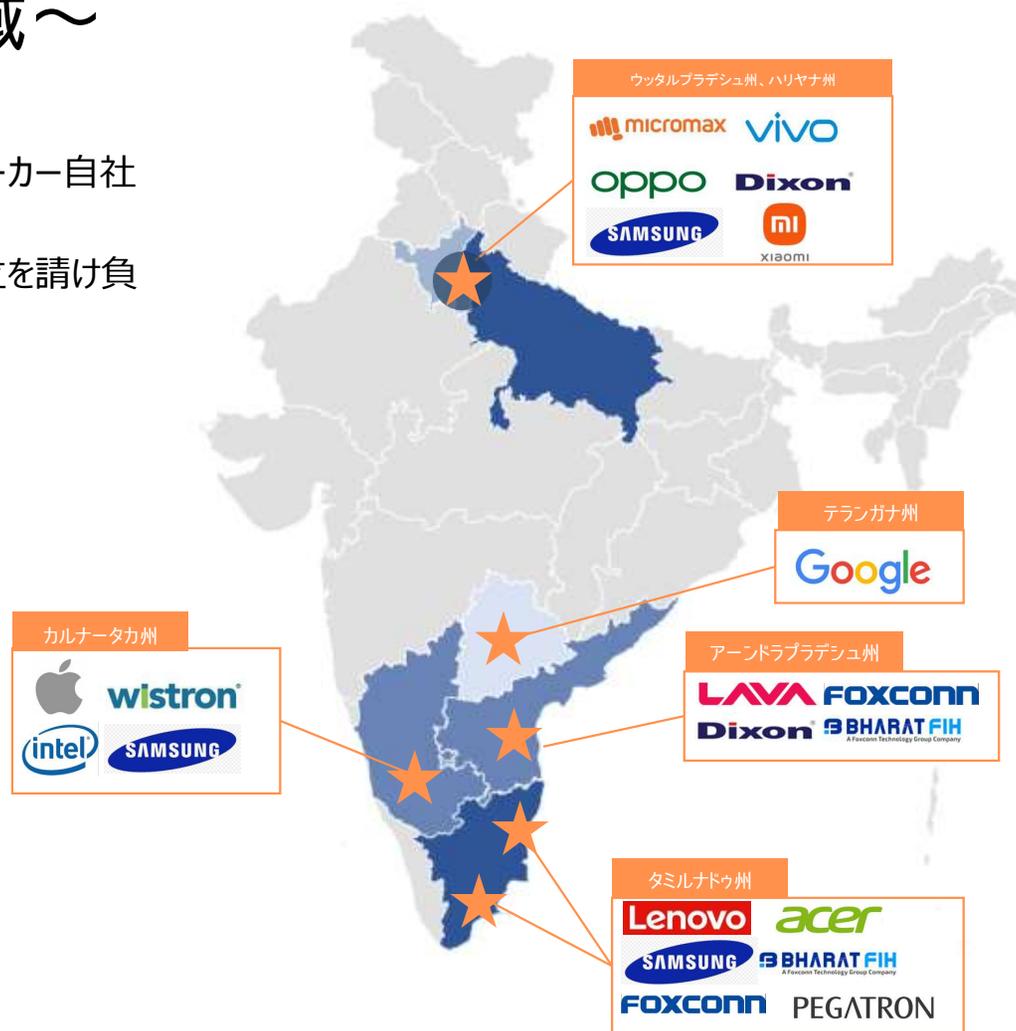
- ティルパティ、スリシティ

### 4. カルナータカ州

- バンガロール、マイソール

### 5. テランガナ州

- ハイデラバード



※各社のHeadOffice及び生産拠点数をベースに評価 参照：INVEST INDIA



医療機器産業

# インド・医療機器産業～概況～

## 市場概況

- 市場規模は、2022年に110億米ドルと推定され、2030年までに500億米ドルに達すると予測されている。
- インドは日本、中国、韓国に次ぐアジア第4位の医療機器市場であり、世界の医療機器市場上位20位に入る。
- 医療施設の増加による内需が見込まれるが、インドの医療機器の輸入依存度は全体的に70～80%に達する。

## 主要企業

- インド国内メーカー：TRANSASIA など
- 海外メーカー：3M, Johnson&Johnson, PHILIPS, Bostin Scientific, Medtronic, Baxter など

## 輸出入

- インドの医療機器輸出は、22年度で24億米ドルであった。2022年4-12月期の医療機器輸出額は24.9億米ドル) で、2025年には100億米ドルに達すると予想されている。
- インドからの輸出増進のため、輸出表示制度の整備や自由販売証明書の有効期限の延長（5年）、インド政府は輸出許可を持つ製造業者リストの作成など制度整備に力を入れている。

## 投資環境

- PLIスキームで、現在までに計26のプロジェクトが承認され、1億4700万米ドルの投資が約束されている
- 2022年8月、医療機器の製造ハブ化を目指した医薬品省は21～25年度の「医療機器パークの推進」に、総額4,897万米ドルの財政投資を行うことを決定。
- 2000年4月から2023年9月までの医療・手術機器セクターへの直接投資額は32.2億米ドルであった。

# インド・医療機器産業～主な集積地域～

- 医療機器メーカーは特にムンバイ、グジャラートアンドラプラデーシュに拠点を持つ企業が多い。
- 医療機器パーク設置（予定含む）州への進出も進んでいる。

- マハラシュトラ州
- ハリヤナ州
- カルナータカ州
- アンドラプラデーシュ州
- グジャラート州

今後の医療機器パークの設置予定先

- グジャラート州
- タミルナドゥ州
- マディヤプラデーシュ州
- ヒマーチャルプラデーシュ州 など



※各社のHeadOffice及び生産拠点数をベースに評価 参照：IBEF, INVEST INDIA



自動車産業

# インド・自動車産業～概況～

## 市場概況

- インドの乗用車市場は2022年から27年にかけて年平均成長率（CAGR）9%以上を記録しながら、2027年には548億4,000万米ドルに達すると予想されている。
- 22年度の年間自動車生産台数は2,293万台であり、インドは内需と輸出の面で強力な市場を持っている
- インド政府は2030年までに、インドの新車販売の30%を電気自動車にすると約束しており、インド電気自動車（EV）市場は、2025年までに70億9,000万米ドルに達すると推定されている。

## 主要企業

- インド国内自動車メーカー：TATA Motors, Mahindra, Ashok Leyland, Eicher Motors など
- 海外自動車メーカー：HYUNDAI, SUZUKI, TOYOTA, NISSAN, BMW, Daimler, Volvo など

## 輸出入

- インドの自動車産業は、2016年から26年の間に自動車輸出を5倍に増やすことを目標としている。
- 23年度のインドからの自動車輸出総額は47,61,487台であり、GDPに占める割合は、1992～1993年の2.77%から現在は約7.1%に増加している。

## 投資環境

- 自動車部門のPLIスキーム（予算額35億ドル）は適用期間が1年延長され23年度から5年間適用される。
- 自動車部門は、2000年4月から2023年9月までの間に、累計約354億米ドルの株式FDIを受け入れた。
- インドは、2030年までに最大のEV市場になる見込みであり、今後8～10年間の総投資額は2,000億米ドルを超える。

# インド・自動車産業～主な集積地域～

- 自動車産業は大きく4つの地域に分かれて集積している。
- 特にチェンナイは「インドのデトロイト」と呼ばれ、近郊含め各社自動車工場が集中している。

1. グジャラート州・マディヤプラデーシュ州
2. タミルナドゥ州・アンドラプラデーシュ州
3. ハリヤナ州・ラジャスタン州・ウッタールプラデーシュ州
4. マハラシュトラ州・カルナータカ州



※各社のHeadOffice及び生産拠点数をベースに評価 参照：IBEF, INVEST INDIA



特殊鋼産業

# インド・特殊鋼産業～概況～

## 市場概況

- インフラ・自動車産業等の伸長によりインドの鉄鋼完成品消費量はFY23の119.17 MTから2030-31には230 MTに増加すると予想されている
- インドは世界第2位の粗鋼生産国で、23年度の粗鋼生産量は125.32MT、完成鋼生産量は121.29MTである。
- インドは世界第5位の鉄鉱石埋蔵量を誇り、低コストの労働力が容易に入手可能であるため、グローバルな市場競争力があると言える。

## 主要企業

- インド国内製鉄会社：STEEL AUTHORITY OF INDIA LIMITED, TATA STEEL, JSW STEELなど
- 海外製鉄会社：ArcelorMittal Nippon Steel India, POSCO, Thyssenkrupp, NJMK など

## 輸出入

- インドは2019-20年度に5,182百万米ドル相当の鉄鋼を輸出し、同じ年度に6,304百万米ドル相当の鉄鋼を輸入した。2020-21年度には、インドの鉄鋼輸出は6,356百万米ドル、輸入は4,333百万米ドルであった。
- 国内での鉄鋼需要の増加をカバーするために、国内生産力の強化が急務となっている。

## 投資環境

- コーティング・メッキ鋼製品、高強度・耐摩耗鋼、特殊レール、合金鋼製品および鋼線、電磁鋼、金属・非金属合金の表面処理鋼板や、自動車パワートレイン鉄鋼部品など25項目の対象製品がPLIスキームの対象となっており、2023-24年度連邦予算において、860万米ドルを鉄鋼省に割り当てられている。
- 業界内プレーヤー同士の統合が進んでいる

# インド・特殊鋼産業～主な集積地域～

▲ : 主な鉄鋼採掘地

- 西部鉄鋼採掘域にはSAIL, TSL, JSPLの拠点が集中している。
- 東-南部鉄鋼採掘域ではJSPL, JSW Steel, AM/NS India が集中している。

## 1. オディシャ州

- カリナガール、アングル

## 2. 西ベンガル州・ジャールカンド州

- ドゥルガプル、ボカロ、  
ジャムシェドプル

## 3. チャッティスガル州

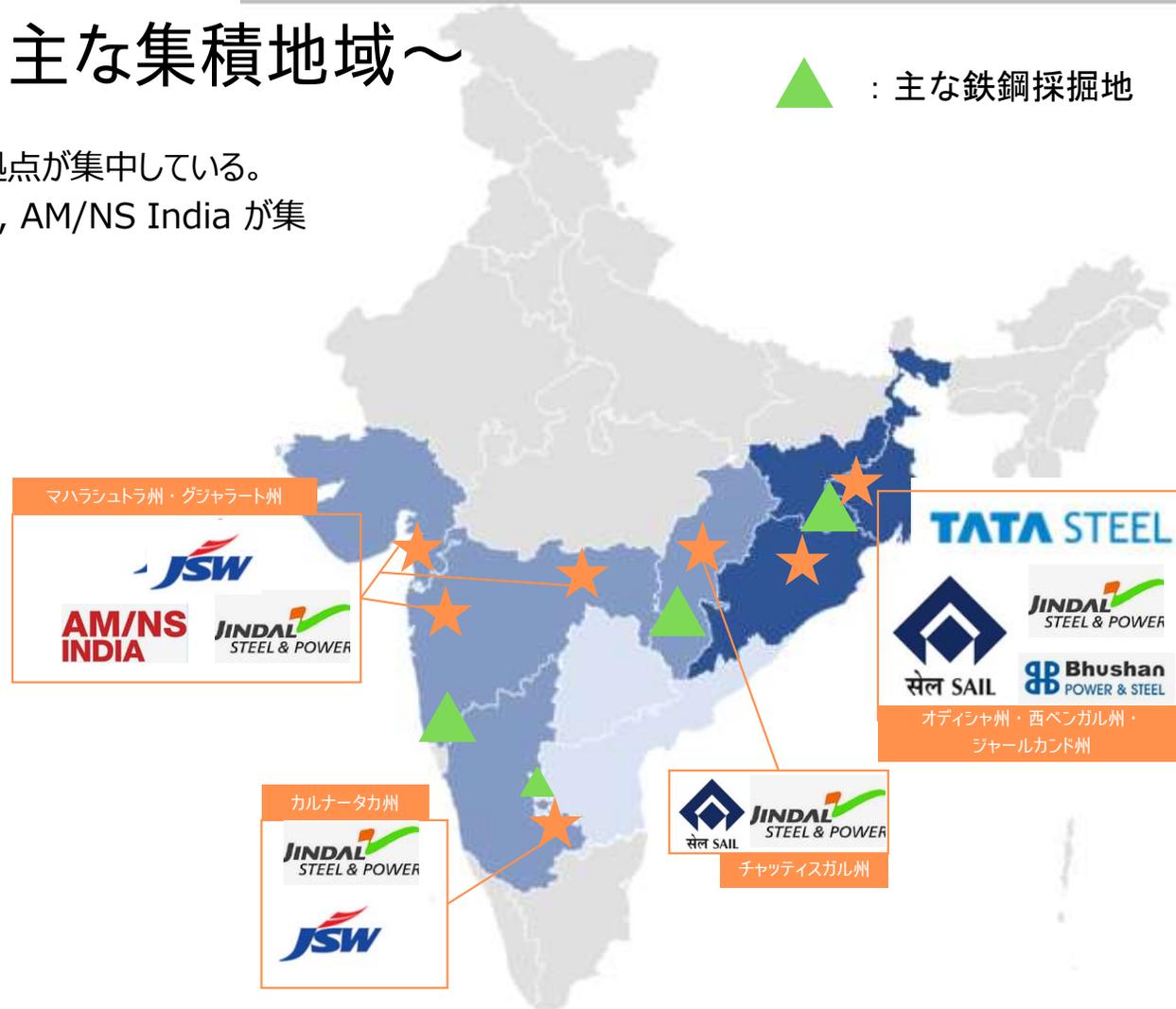
- ライガル、ビライ

## 4. カルナータカ州

- ヴィジャヤナガル

## 5. マハラシュトラ州・グジャラート州

- ドルヴィ、ワーダ、ハジラ



※各社のHeadOffice及び生産拠点数をベースに評価 参照：INVEST INDIA



白物家電産業

# インド・白物家電産業～概況～

## 市場概況

- 白物家電市場は2025年までに年平均成長率11%で210億米ドルを超えると推定され、国内製造は平均46億米ドル近くに達する。
- インドの耐久消費財市場シェアのうち30%はまだ市場シェア未確立の状態であり、各上場企業の市場拡大余地がおおいにある分野である。

## 主要企業

- インド国内家電メーカー：VOLTAS, Crompton Greaves Consumer Electricals Ltd, Blue Star Ltd. など
- 海外家電メーカー：SAMSUNG, Daikin, Mitsubishi Electric, LG, Hitachi など

## 輸出入

- 電子部品の製造拠点をインドに設置し、輸出を奨励することで白物家電市場の開拓に注力
- インドは26年度までに電子機器輸出総額1200億ドルを目指している。
- 23年度（4月～11月）のエレクトロニクス輸出は13.8%増と、過去6年間で最高の伸びを示した。

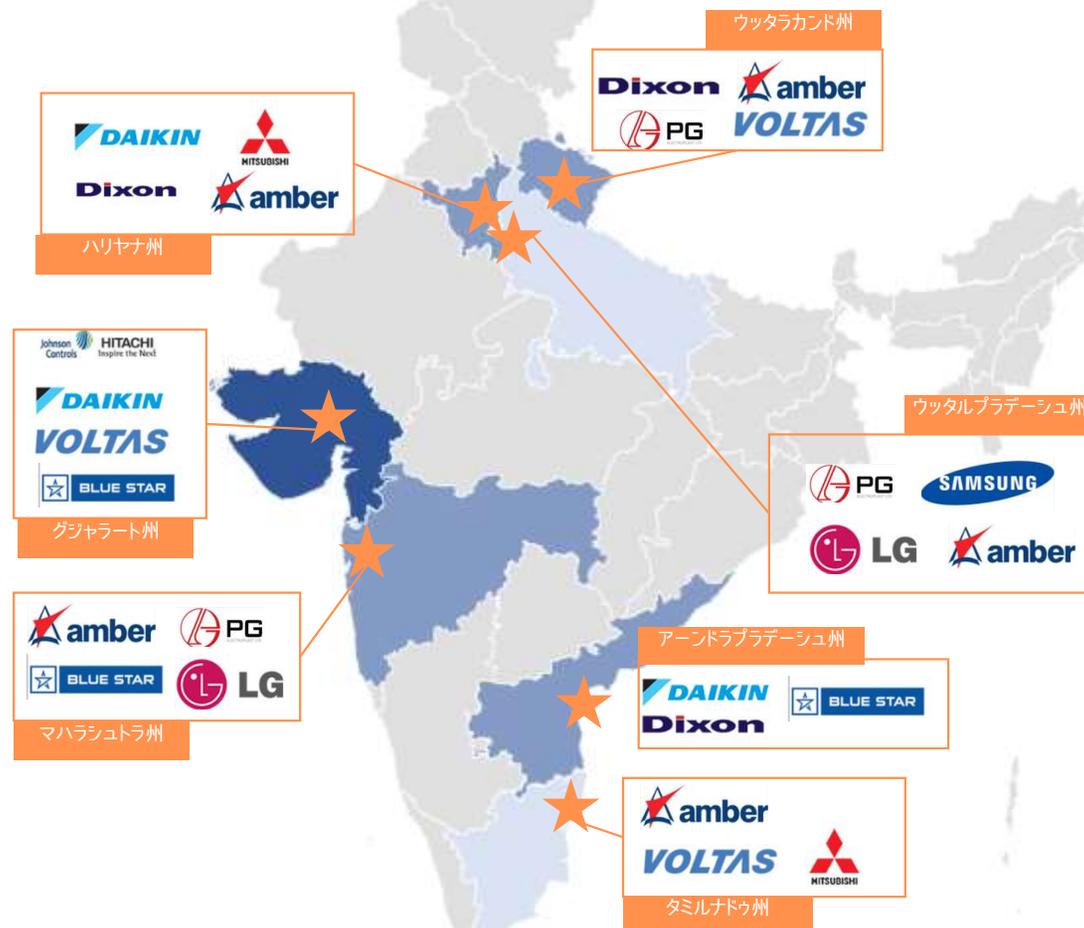
## 投資環境

- 2021年11月、2022年4月に、白物家電のPLIスキームで計61社が選ばれ7億7,539万米ドルの投資が約束され、スキームの一環として、61社が14の州および都市部の111カ所に部品製造施設を設立
- 複数の州が耐久消費財メーカーに対する特別優遇措置を発表しており、資本支出、利払い、土地購入などに優遇措置が設けられている。

# インド・白物家電産業～主な集積地域～

- 北部のノイダ、デリー、ハリヤナ、西部のムンバイには本社含めて各社が集中している。
- 工場は他産業に比べ広範囲に点在しているが、グジャラート、ウッタラカンド、チェンナイ、スリシティに特に多い。

- ウッタルプラデーシュ州・ハリヤナ州
  - ノイダ、デリー、グルガオン
- マハラシュトラ州・グジャラート州
  - ムンバイ、アーメダバード
- ウッタラカンド州
  - デハラダン、ルールキー
- タミルナドゥ州・アンドラプラデーシュ州
  - チェンナイ、スリシティ



※各社のHeadOffice及び生産拠点数をベースに評価 参照：IBEF,INVEST INDIA



繊維産業

# インド・繊維産業～概況～

## 市場概況

- インドは綿花の世界最大生産国であり、天然繊維産業は2025年までに1380億米ドルから1950億米ドルに成長すると予想されている。インドは世界第5位のテクニカル・テキスタイルの生産国でもある。
- テクニカル・テキスタイル市場は成長率10%、普及率10%程度と今後大きな成長の可能性を秘めている。
- インドは世界第2位のPPE(医療防護服)生産国でもあり2025年には925億ドル以上になると予想されている。

## 主要企業

- インド国内繊維企業: VARDMAN, SUTLEJ, SOKTAS, AHLSTROM, ARVIND など
- 海外繊維企業: RIETER, TERRAM, BRANDIX, TORAY など

## 輸出入

- インドは繊維産業の純輸出国である。
- 繊維製品の輸出は、24年度（4月～11月）に124.7億米ドルであり、技術繊維247品目の輸出は、4-6月期（2023-24年）に59億4,600万ルピー（7億1,548万米ドル）であった。

## 投資環境

- 民間資本を誘致し、より多くの従業員を雇用するために、政府は統合繊維パーク計画（SITP）、技術向上基金計画（TUFS）、メガ統合繊維地域・アパレル（MITRA）パーク計画など様々な制度を導入している
- 2000年4月から2023年9月までの間に繊維部門に流入したFDI総額は43億4,000万米ドルに達し、過去5年で急増している。

# インド・繊維産業～主な集積地域～

- 繊維工業は生産工程別に集積地域が分かれている。
- 総合繊維会社は特にグジャラート州、マハーシュトラ州に多い。

- **紡績業**

- パンジャブ州、ハリヤナ州、ケララ州、タミルナドゥ州、アンドラプラデーシュ州

- **製織業**

- グジャラート州、マハーシュトラ州

- **ニット編織業**

- タミルナドゥ州、パンジャブ州、ハリヤナ州、ヒマーチャルプラデーシュ州

- **縫製・アパレル**

- マハラシュトラ州、カルナータカ州、アンドラプラデーシュ州、ウッタルプラデーシュ州



※各社のHeadOffice及び生産拠点数をベースに評価 参照：IBEF,INVEST INDIA